

農林水産統計だより

関東農政局 統計部

2018.7 vol.9

〈お知らせ〉「面積調査」を実施しています

旬：関東の日本なし

統計トピックス

1 平成 29 年産花きの作付(収穫)面積及び出荷量について

2 平成 29 年産みかん及びりんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量について

農林水産統計 公表に関するお知らせ

農林水産統計 調査に関するお知らせ

〈お知らせ〉「面積調査」を実施しています

平成 30 年 7 月まで

農林水産省では、毎年、農業の生産基盤となる耕地と農作物の作付けの実態を明らかにし、生産対策、構造対策、土地資源の有効活用等の各種土地利用行政の企画立案及び行政効果の判定を行うための資料の作成を目的として、面積調査を実施しています。

調査は、関東農政局が抽出した調査対象地域において「関東農政局職員」又は「関東農政局長に任命された統計調査員」が、耕地等の現況や水稻の作付け状況の確認を行います。

調査に当たりましては、耕地等について一筆ごとに確認するため、地域内の農道やけい畔等を通行させていただく場合がありますが、調査を実施する職員及び統計調査員は、身分証明書又は関東農政局長が発行した調査員証を携行し、地域の方々の御不審を招かないよう周辺にお声かけをするなどの取組を行い、調査を実施いたしますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、「関東農政局職員」又は「関東農政局長が任命した専門調査員」が、7月から 10 月にかけて「水稻調査」(一部のほ場での実測と聞き取り)を実施します。

旬 関東の日本なし

日本なしには「赤梨」と「青梨」があり、赤梨は「幸水」や「豊水」など、青梨は「二十世紀」などの品種があります。関東農政局管内では、幸水、豊水を主体に新高、にっこり、南水、彩玉、稲城等多くの品種が栽培されています。収穫は、8月上旬から9月下旬をピークに7月中旬頃から11月上旬頃までとなっています。

平成 29 年産(概数値)の全国の日本なしの収穫量は 24 万 5,400t ですが、関東農政局管内では、千葉県が 3 万 2,000t (13%・全国 1 位)、茨城県が 2 万 3,400t (10%・同 2 位)、栃木県が 1 万 9,000t (8%・同 3 位)、長野県が 1 万 5,300t (6%・同 6 位)の収穫量となっており、全国順位の上位を占めています。

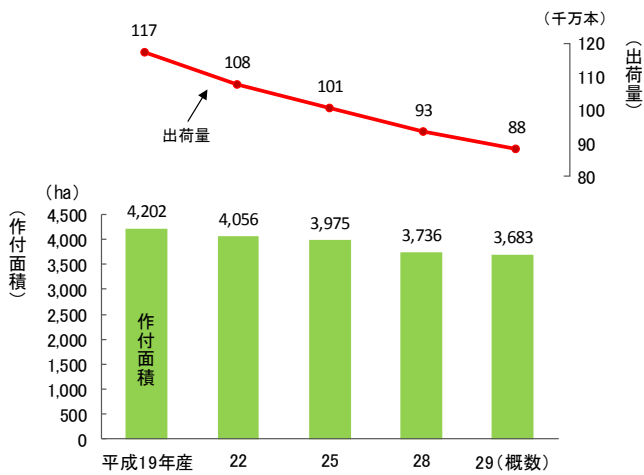
(農林水産省統計部「平成 29 年産果樹生産出荷統計」より)

1 平成29年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量について（平成30年5月17日公表）

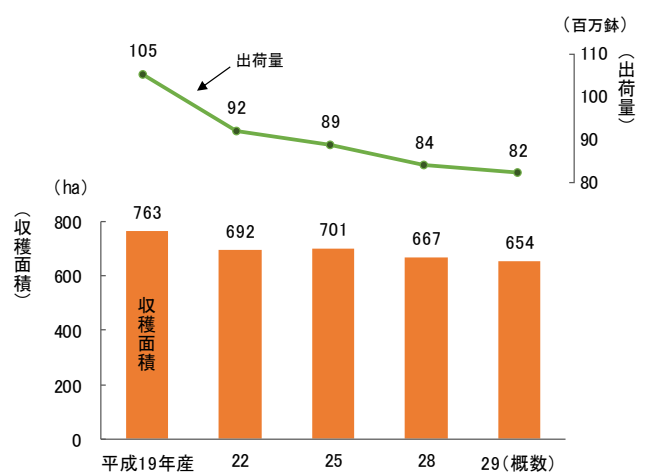
【調査結果の概要（関東農政局管内・平成29年産）】

- 関東農政局管内（以下「管内」という。）の切り花類の作付面積^{注1}は 3,683 ha、出荷量は8億 8,223 万本で、前年産に比べそれぞれ 53 ha（1%）、5,207 万本（6%）減少しました。
出荷量を都県別にみると、静岡県が1億 9,270 万本（全国4位）と最も多く次いで、長野県が1億 6,750 万本（同6位）、千葉県が1億 6,220 万本（同7位）の順となっています。
- 鉢ものの類の収穫面積^{注2}は 654 ha、出荷量は 8,195 万鉢で、前年産に比べそれぞれ 13 ha（2%）、185 万鉢（2%）減少しました。
出荷量を都県別にみると、埼玉県が 2,430 万鉢（全国2位）と最も多く次いで、静岡県が 1,400 万鉢（同4位）、千葉県が 1,000 万鉢（同5位）の順となっています。

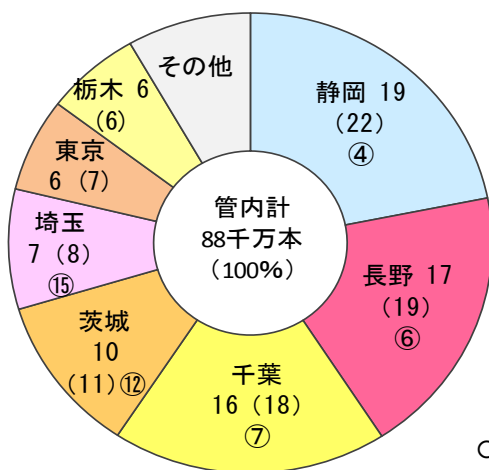
切り花類の作付面積及び出荷量の推移（管内）



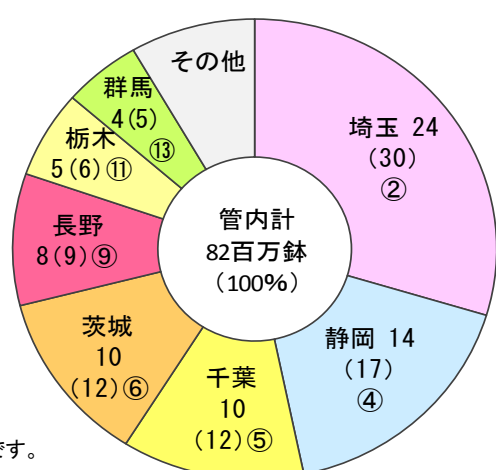
鉢ものの類の収穫面積及び出荷量の推移（管内）



切り花類計出荷量（管内）



鉢ものの類計出荷量（管内）



○数字は全国順位です。

注1： 作付面積とは、花きの販売を意図して、作付けした面積をいう。

注2： 鉢ものの類の収穫面積とは、鉢が占有しているベッド、棚等の延べ面積のうち出荷（収穫）した花きの利用面積をいい、育成中の利用面積を除く。

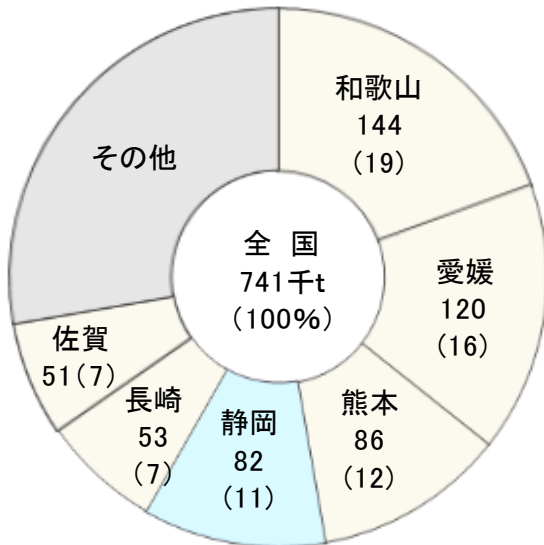
詳細については農林水産省ホームページ「統計情報」を御覧ください。
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

2 平成29年産みかん及びりんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量について(平成30年5月15日公表)

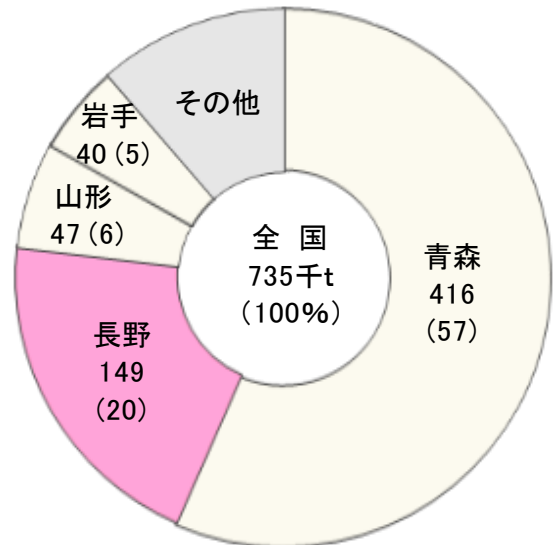
【調査結果の概要】

- 管内主産県のみかんの収穫量（平成29年産）をみると、静岡県が8万1,700 t で全国第4位となっています。
また、神奈川県が1万9,200 t（同10位）、千葉県が1,400 t（同21位）となっています。
- 管内主産県のりんごの収穫量（平成29年産）をみると、長野県が14万9,100 t で全国第2位となっています。
また、群馬県が8,760 t（同7位）となっています。

みかんの収穫量(平成29年産)



りんごの収穫量(平成29年産)



注 平成29年産「みかん」及び「りんご」の数値については主産県調査のため全国値は推計値である。

詳細については農林水産省ホームページ「統計情報」を御覧ください。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>】

農林水産統計 公表に関するお知らせ

大臣官房統計部公表予定(7月～9月)

公表時に農林水産省ホームページの「統計情報」へ掲載します。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

公表予定	資 料 名
7月	平成29年農業物価指数（平成27年基準） 畜産統計（平成30年2月1日現在） 生産者の米穀在庫等調査（平成29年度） 生産者の米穀在庫等調査（平成30年6月末見込み） 平成29年新規就農者調査
8月	平成29年産キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量 水産加工統計調査（平成29年） 農業経営統計調査 平成29年産大豆生産費（個別経営） 農業経営統計調査 平成29年産大豆生産費（組織法人経営） 農業経営統計調査 平成29年産そば生産費 平成30年産一番茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県） 平成29年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率 平成29年産指定野菜（秋冬野菜等）及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量 併載：平成29年産野菜（41品目）の作付面積、収穫量及び出荷量（年間計） 平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況
9月	平成29年漁業経営調査 平成30年産麦類（子実用）の作付面積（全国）及び収穫量（都府県） 平成30年産水稻の作付面積及びもみ数確定期における作柄概況 野生鳥獣資源利用実態調査（平成29年度）

農林水産統計 調査に関するお知らせ

現在実施中及び今後行われる主な調査をお知らせします。

調査は、往復郵送調査（オンライン調査）、調査員調査、現地調査（職員や統計調査員等が作物の作付面積、生育状況等の現地確認、調査対象である農家等のほ場で実測調査及び面接聞き取り）の方法により行います。

調査に伺う職員、統計調査員等は必ず身分証明書又は調査員証を携行し、地域の皆様にご不審等を招くことのないよう注意を払っていますが、お見かけの際はどうぞ遠慮なく声を掛けていただき、地域の情報をお聞かせいただければ幸いです。

調査名	実施期間	調査対象	調査方法	調査の概要
農作物の作付面積、作柄等の把握	年間随時	農地	専門調査員が農地を確認	調査区内(耕地)に作付けされている農作物名及びその面積、作柄及び被害発生状況の把握
収穫量調査(野菜、果樹等)	年間随時	農家及び集出荷団体等	往復郵送調査(集出荷団体等に対してはオンライン調査が可能)	作物ごとの作付面積(結果樹面積)、収穫量(集荷量又は出荷量)及び作柄状況等を把握
共済減収調査	各作物の収穫期	農家 農地	職員又は専門調査員が一部のほ場での実測と聞き取り	水稻、大豆及び果樹類の気象被害等による減収量を標本実測調査により把握
生産者の米穀在庫等調査	年間(4月、6月、7月)	農家	調査員又は往復郵送	米の在庫量、消費量及び販売量等
耕地及び水稻作付面積調査	6月～7月	農地	職員又は調査員が農地を確認	農地等の現況や水稻の作付け状況を把握
野生鳥獣資源利用実態調査	6月～7月	野生鳥獣の食肉処理施設	農林水産省が委託した民間業者による往復郵送調査又はオンライン調査	野生鳥獣の食肉処理施設の処理実態を把握
食品流通段階別価格形成調査	7月～9月	(青果物) 農業経営体(農家等)、集出荷団体、仲卸業者、小売業者	農業経営体及び漁業経営体は、農林水産省が委託した民間業者による往復郵送調査又はオンライン調査	各段階での仕入れ・販売金額等を把握し、流通段階別の価格形成や出荷先別販売金額割合等の実態を把握
		(水産物) 漁業経営体(漁家等)、産地卸業者、産地出荷業者、仲卸業者、小売業者	上記以外の調査対象は農政局(都県拠点)より調査票を配布し、職員又は郵送による回収(オンライン調査が可能)	
水稻調査	7月～10月(収穫期)まで	農家 農地	職員又は専門調査員が一部のほ場での実測と聞き取り	水稻の収穫量を標本実測調査により把握
6次産業化総合調査	8月～9月	漁業生産関連事業を営んでいる漁家及び漁協等	農林水産省が委託した民間業者による往復郵送調査又はオンライン調査	生産関連事業の概要、販売金額、従事者、営業(稼働)日数等を把握
	10月～11月	農業生産関連事業を営んでいる農家及び農協等	一定規模以上は、農林水産省又は農政局(都県拠点)による往復郵送調査又はオンライン調査	



オンライン調査に御協力をお願いします

農林水産省では、簡単なパソコン画面の操作で、皆様の御都合にあわせて報告できる、オンライン調査を一部の調査で実施しています。

自宅や職場のパソコンからインターネット回線を経由して、電子調査票を報告するシステムですが、個別にログイン用IDが配布され、データは不正アクセスから厳重に守られ、また、データの送受信は暗号化によって保護されており、外部に漏れることはありません。

関東農政局ホームページ「統計調査への御協力をお願い」にも掲載しています。

【http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kyouryokuonegai/index.html】

【問合せ先】

〈農林水産統計全般について〉農林水産省関東農政局統計部統計企画課 TEL 048-740-0058
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 (さいたま新都心合同庁舎2号館 6F)